

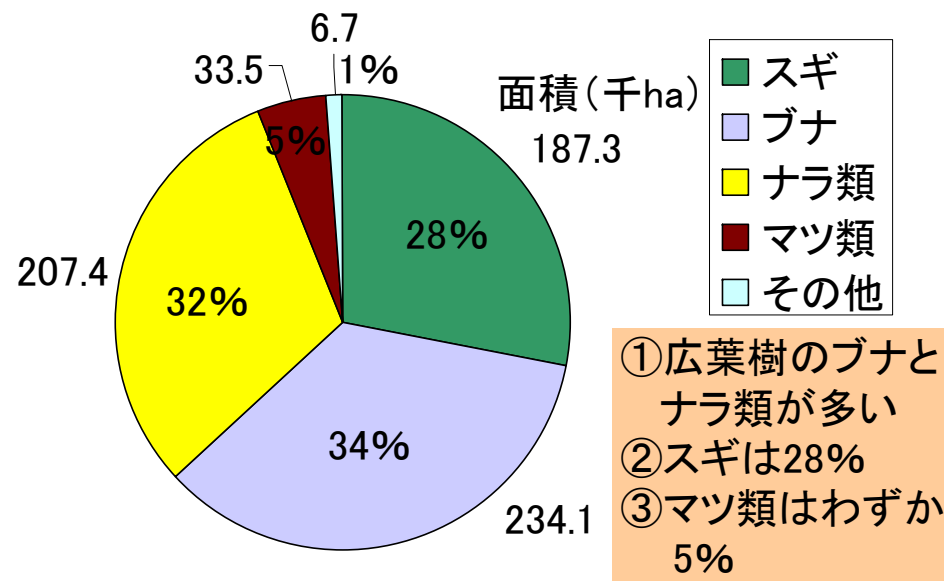
置賜地域の広葉樹資源の現状 とその利用状況について



山形県置賜総合支庁産業経済部
森林整備課長 佐藤恒治

山形県の主要樹種別面積比率

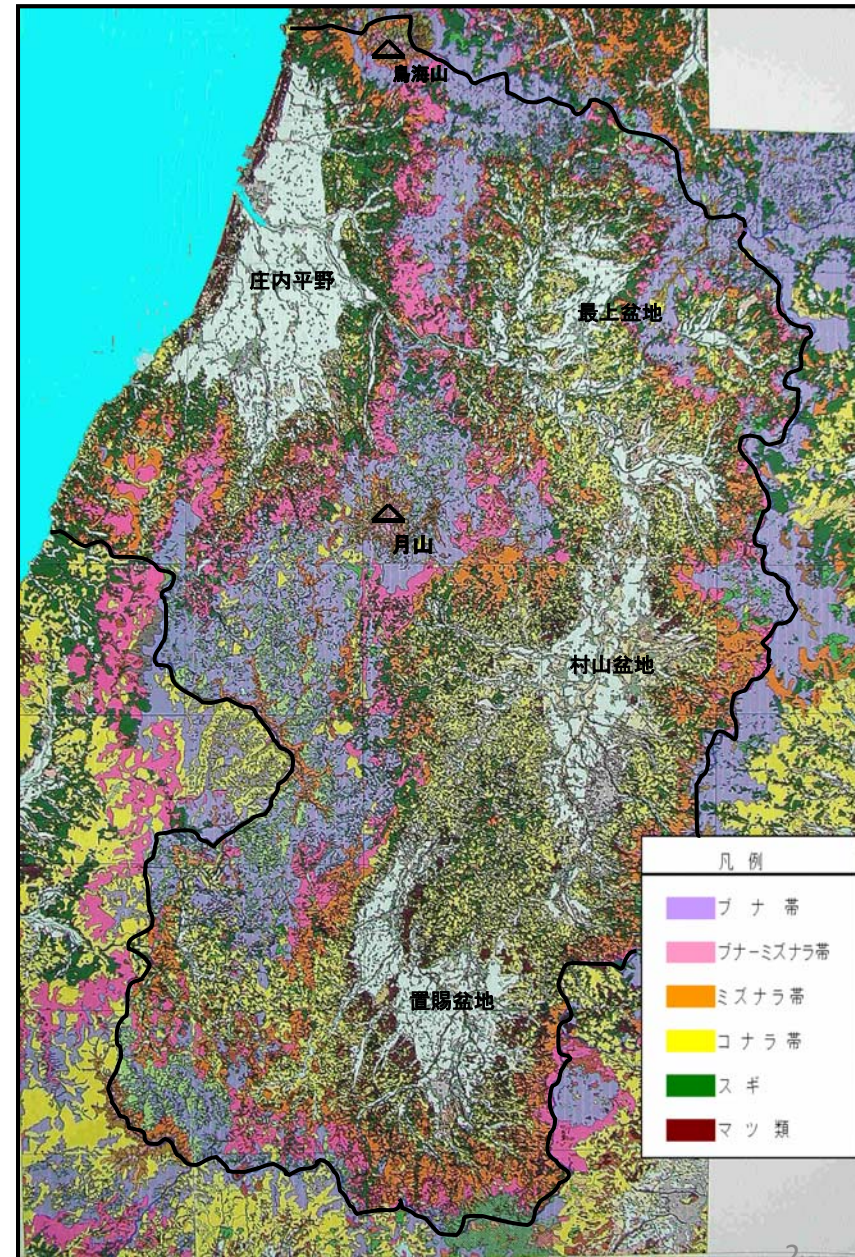
山形県の県土の約7割は森林



ナラ類、ブナの垂直分布

- | | |
|-----------|----------|
| ①コナラ帯 | 0～350m |
| ②ミズナラ帯 | 150～600m |
| ③ブナーミズナラ帯 | 450～700m |
| ④ブナ帯 | 550～ |

山形県森林研究研修センター 齊藤(2004)

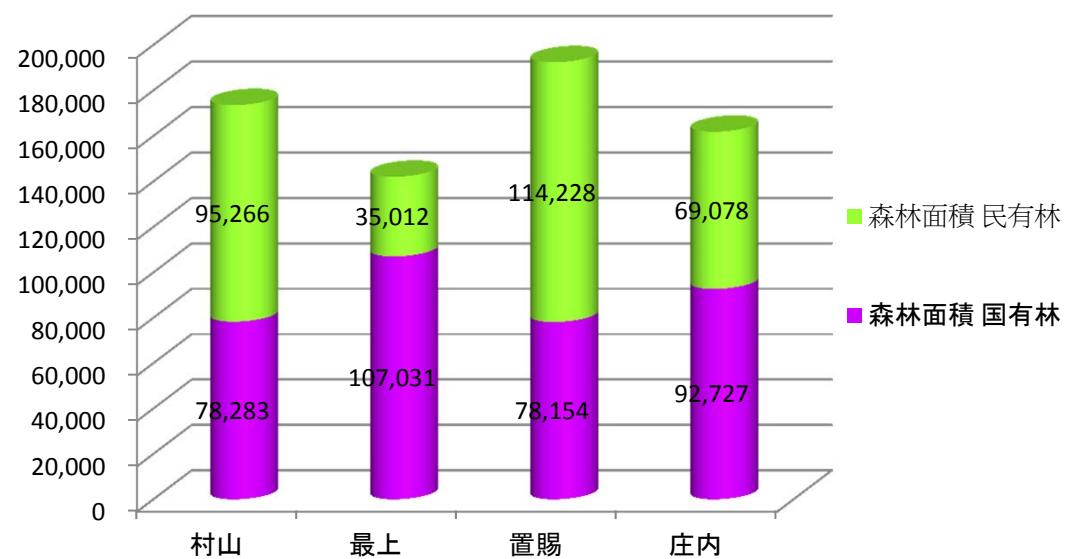


森 林 資 源

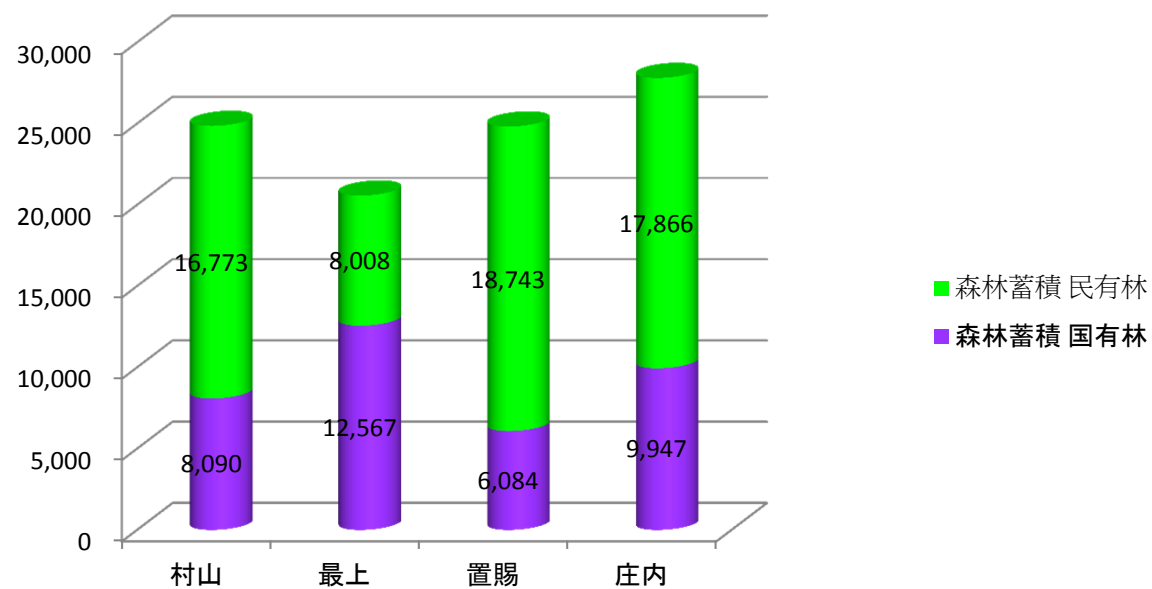
	総面積 (ha)	森林面積			森林率	民有林率	民有林 人工林 面積(ha) (針+広)	民有林 人工林率 (針+広)	森林蓄積(国+民)		
		国有林(ha)	民有林(ha)	計(ha)					針葉樹 (千m3)	広葉樹 (千m3)	計 (千m3)
米沢市	54,874	9,768	32,262	42,031	76.6%	76.8%	8,111	19.3%	3,183	3,055	6,238
南陽市	16,070	304	9,242	9,546	59.4%	96.8%	3,950	41.4%	1,629	590	2,219
高畠町	18,004	1,579	9,033	10,612	58.9%	85.1%	2,840	26.8%	954	793	1,747
川西町	16,646	167	7,686	7,853	47.2%	97.9%	1,449	18.5%	539	647	1,186
東南置賜計	105,594	11,818	58,223	70,042	66.3%	83.1%	16,350	23.3%	6,305	5,085	11,390
長井市	21,469	8,940	5,712	14,652	68.2%	39.0%	1,654	11.3%	593	1,003	1,596
小国町	73,755	50,425	19,217	69,642	94.4%	27.6%	4,314	6.2%	2,551	3,670	6,221
白鷹町	15,774	981	9,287	10,268	65.1%	90.4%	5,303	51.6%	1,852	434	2,286
飯豊町	32,960	5,990	21,789	27,778	84.3%	78.4%	4,957	17.8%	1,401	2,031	3,432
西置賜計	143,958	66,336	56,005	122,340	85.0%	45.8%	16,228	13.3%	6,397	7,138	13,535
置賜合計(A)	249,552	78,154	114,228	192,382	77.1%	59.4%	32,578	16.9%	12,702	12,223	24,925
村山管内計	261,914	78,283	95,266	173,550	66.3%	54.9%	33,005	19.0%	13,223	11,640	24,863
庄内管内計	240,518	92,727	69,078	161,805	67.3%	42.7%	37,127	22.9%	16,449	11,364	27,813
最上管内計	180,362	107,031	35,012	142,044	78.8%	24.6%	20,158	14.2%	11,678	8,896	20,574
山形県(B)	932,346	356,195	313,584	669,781	71.8%	46.8%	122,868	18.3%	54,052	44,123	98,175
(A)/(B)%	26.8%	32.1%	36.4%	28.7%			26.5%		23.5%	27.7%	25.4%

資料：平成25年度山形県林業統計 ※単位未満四捨五入のため、各数値の計と合計は一致しない場合がある

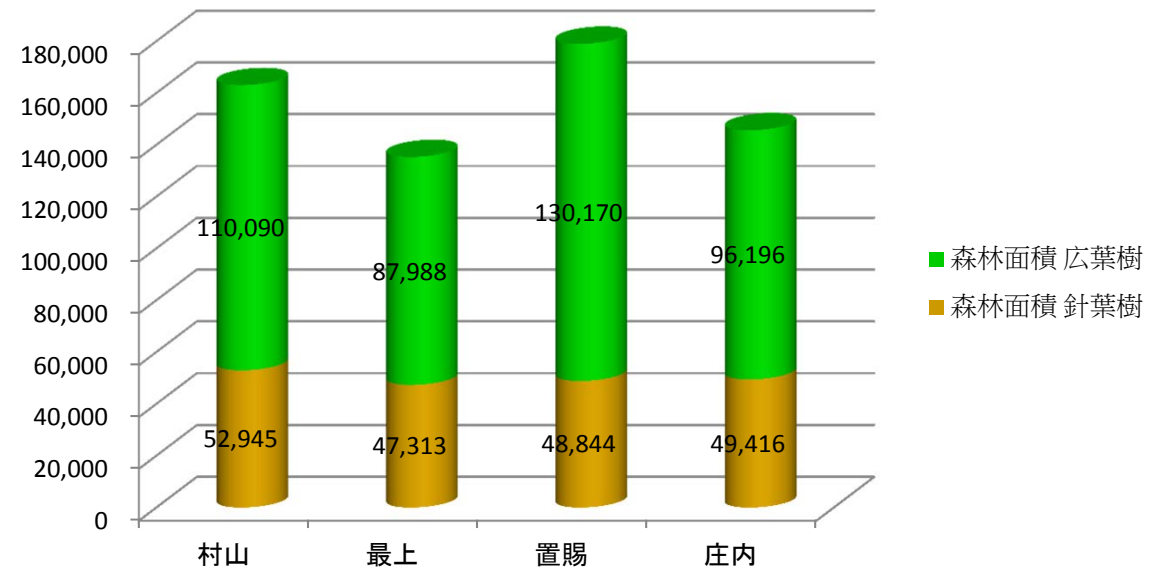
地域別、国・民別 森林面積



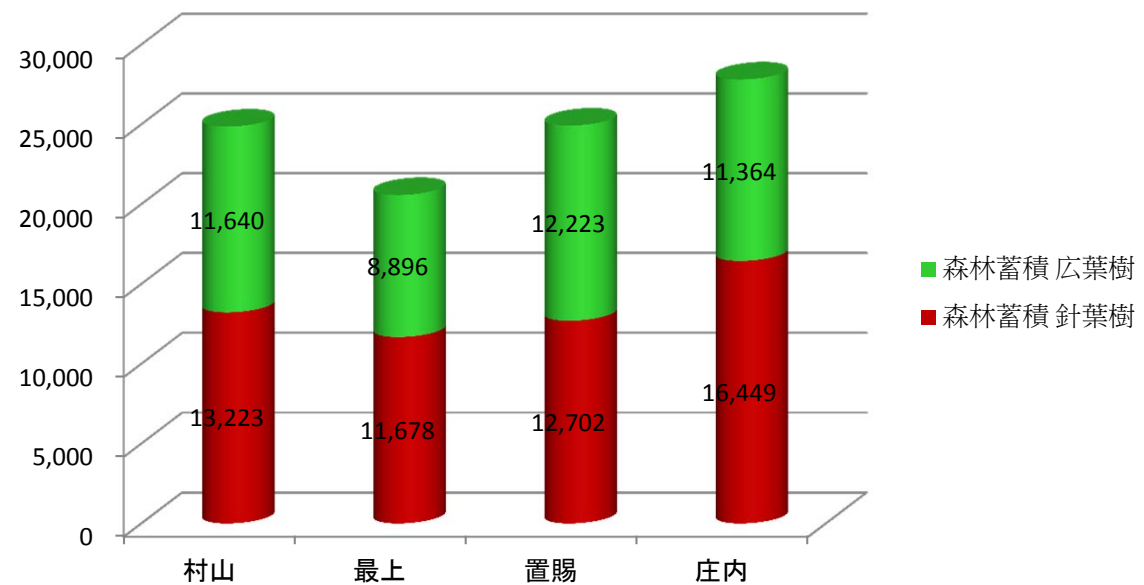
地域別、国・民別 森林蓄積



地域別、針・広別 森林面積

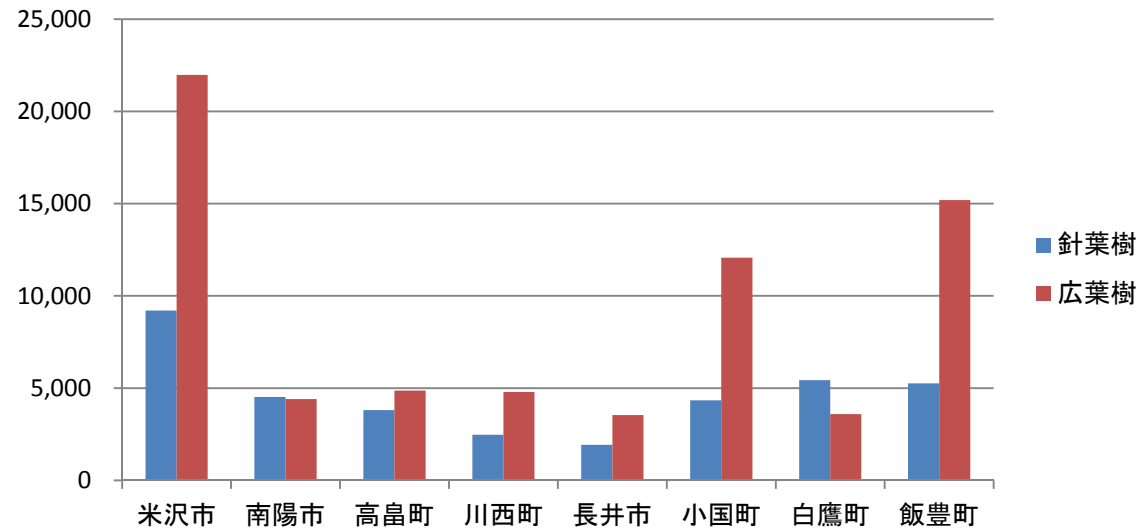


地域別、針・広別 森林蓄積

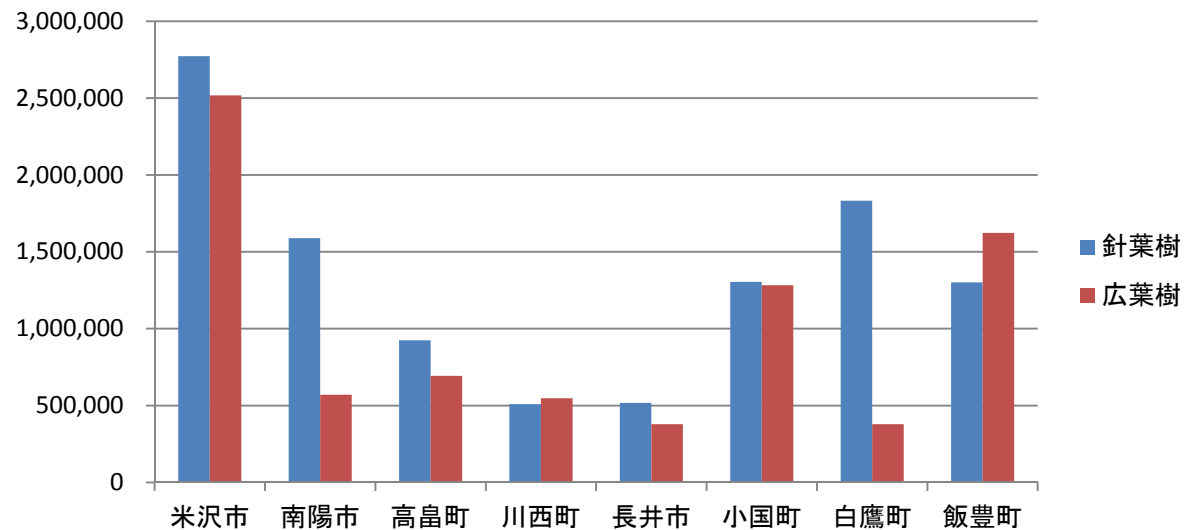


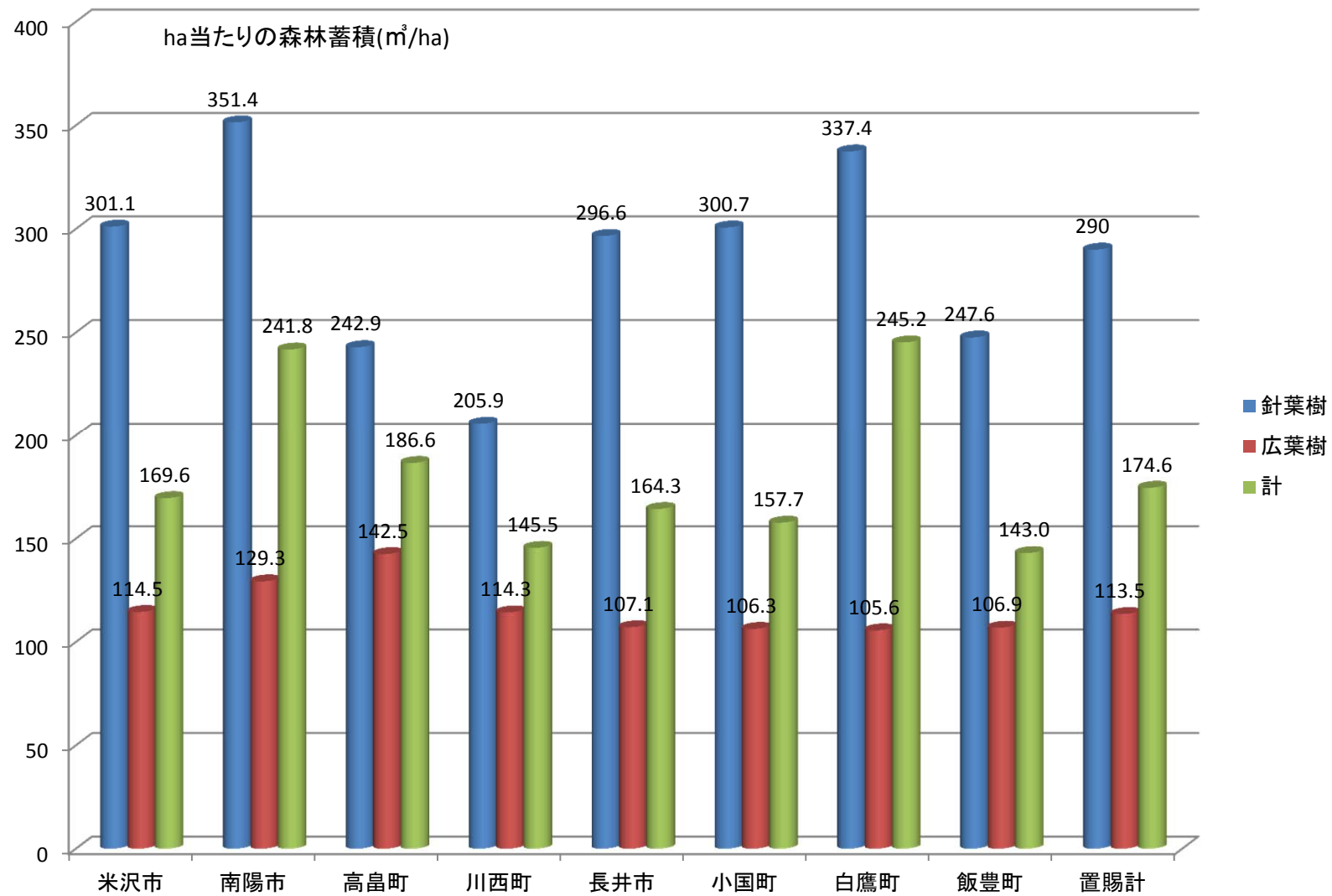
民有林の針広別市町村別資源量

面積: ha



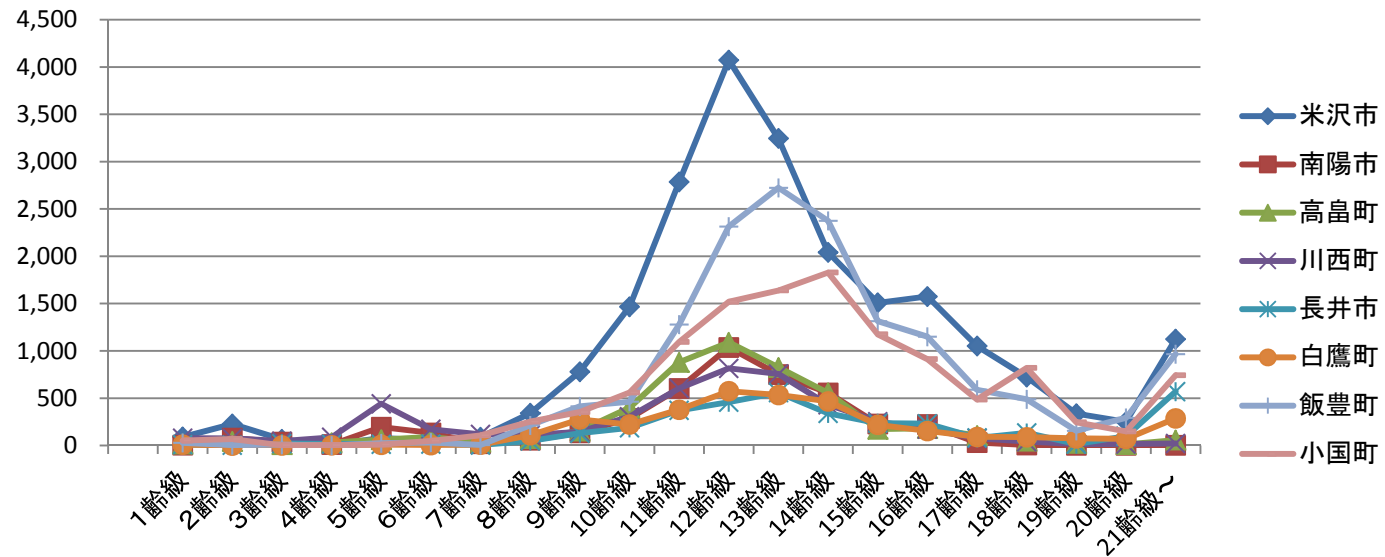
蓄積: m³



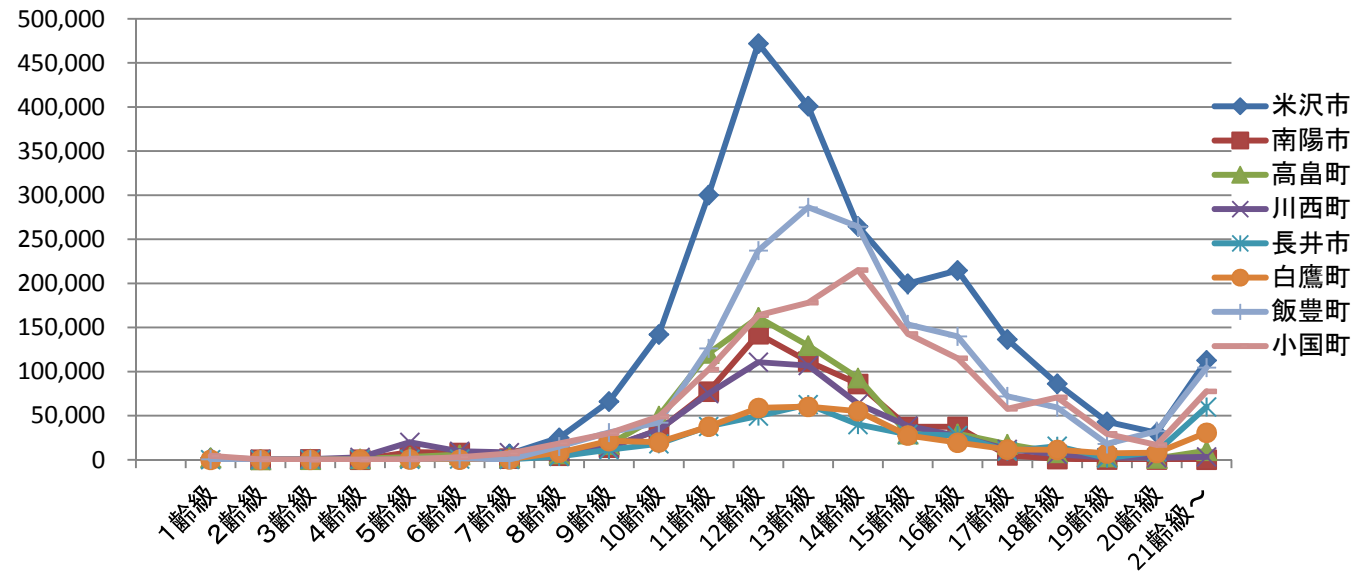


広葉樹資源の齢級構成

面積:ha



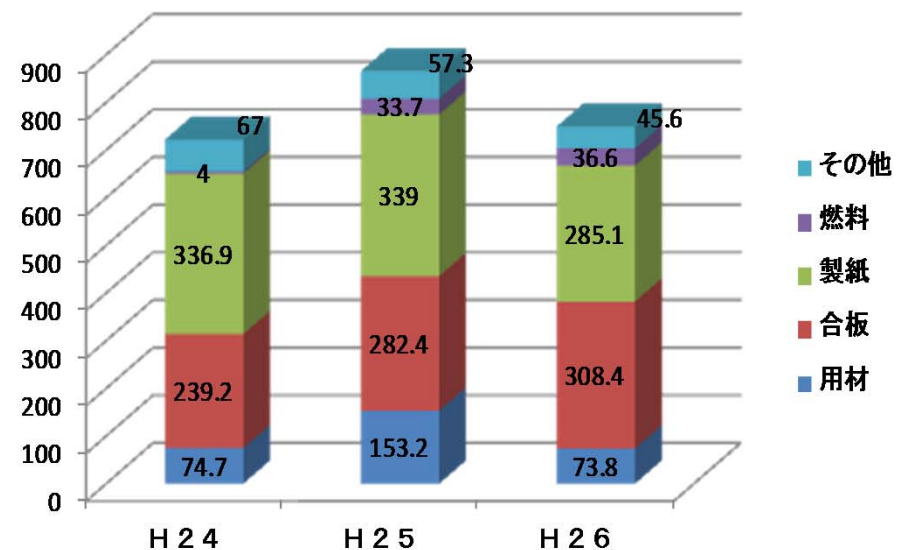
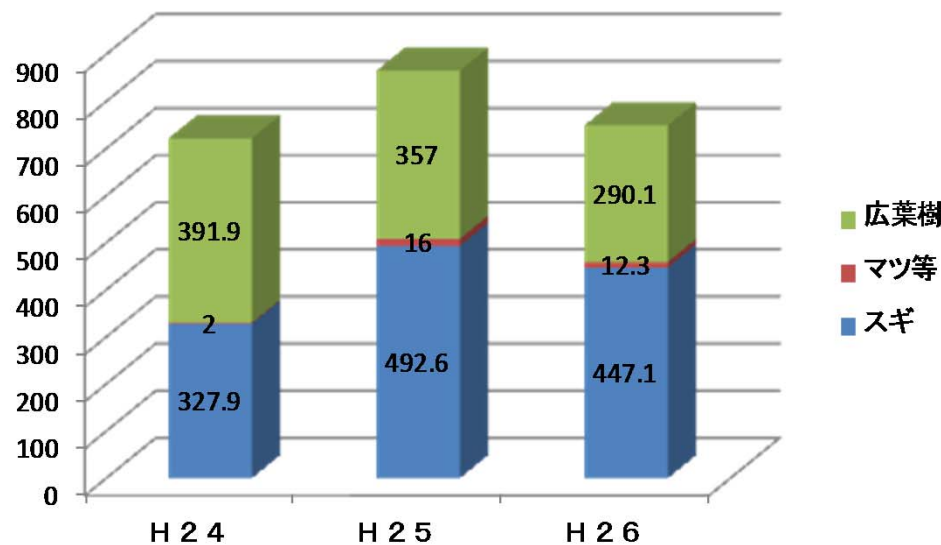
蓄積:m³



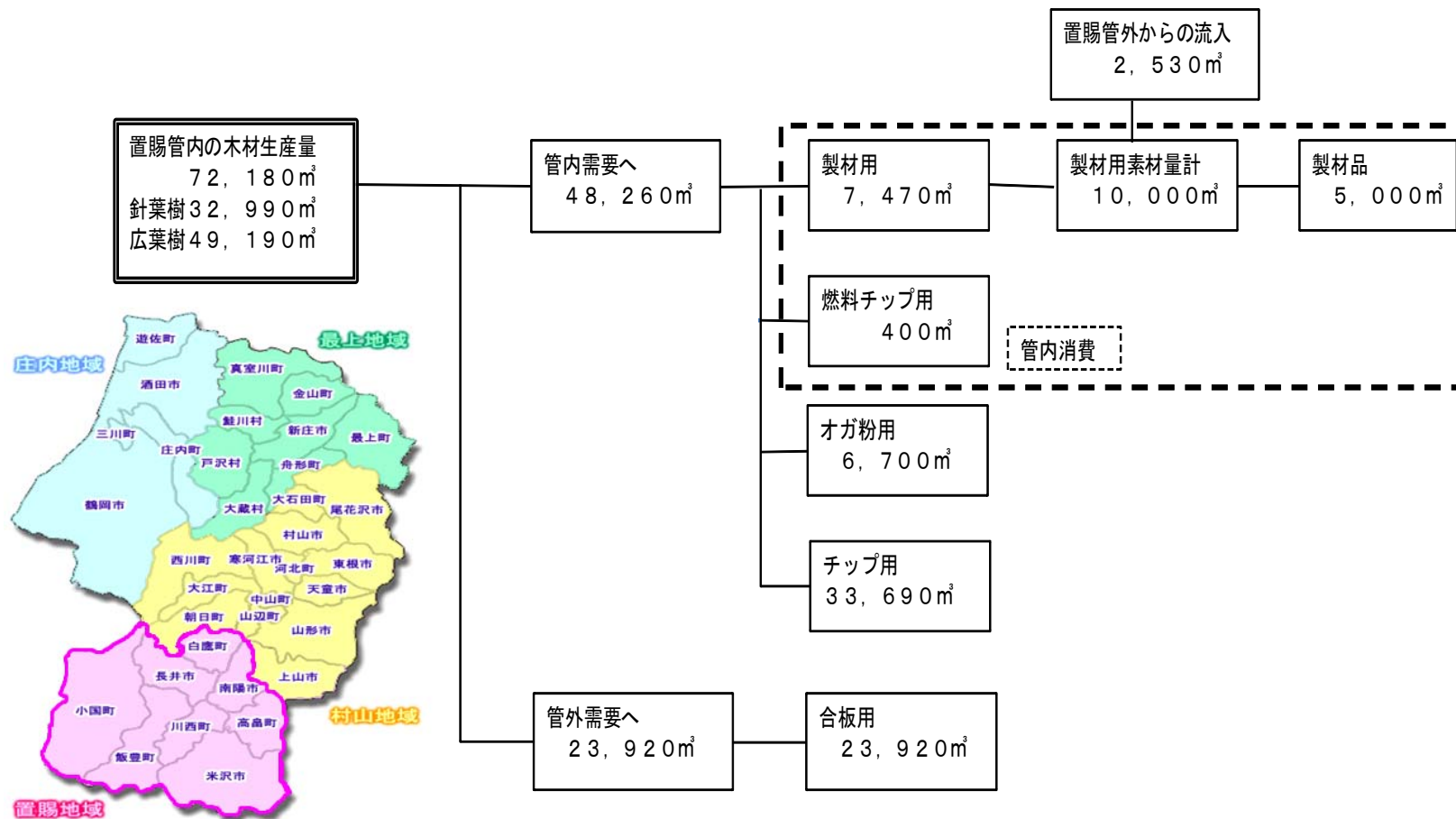
用途別素材生産量

素材生産量						単位百m ³
	用材	合板	製紙	燃料	その他	計
H24	74.7	239.2	336.9	4	67	721.8
H25	153.2	282.4	339	33.7	57.3	865.6
H26	73.8	308.4	285.1	36.6	45.6	749.5

広葉樹						単位百m ³
	用材	合板	製紙	燃料	その他	計
H24	4	0	320.9	0	67	391.9
H25	5	0	298	1	53	357
H26	3	0	242.1	1	44	290.1



置賜管内で生産された素材及び製品の流れ(平成24年度)



置賜地域の市町別の境界明確な森林の割合

人工林

単位 : ha

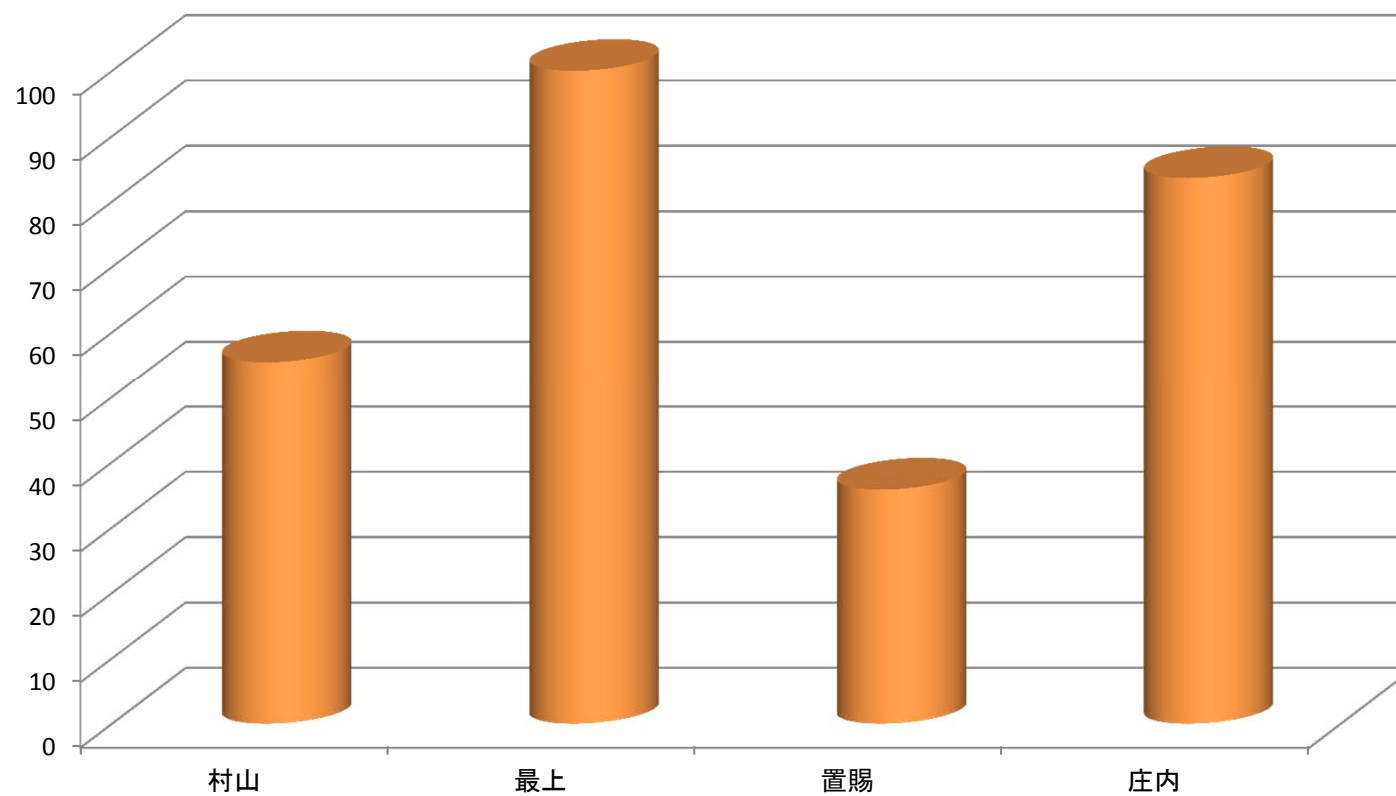
	総面積	明確な森林	割合	不明確な森林
飯豊町	4,957	4,522	91.2%	435
長井市	1,654	1,353	81.8%	301
小国町	4,314	3,145	72.9%	1,169
川西町	1,449	1,024	70.7%	425
高畠町	2,840	1,738	61.2%	1,102
米沢市	8,111	3,905	48.1%	4,206
白鷹町	5,303	2,422	45.7%	2,881
南陽市	3,950	1,701	43.1%	2,249
計	32,578	19,810	60.8%	12,768

天然林

単位 : ha

	総面積	明確な森林	割合	不明確な森林
飯豊町	16,840	8,965	53.2%	7,875
長井市	4,090	1,842	45.0%	2,248
高畠町	6,172	2,172	35.2%	4,000
南陽市	5,297	1,692	31.9%	3,605
白鷹町	3,968	920	23.2%	3,048
小国町	14,848	2,002	13.5%	12,846
米沢市	24,133	2,852	11.8%	21,281
川西町	6,253	653	10.4%	5,600
計	81,601	21,098	25.9%	60,503

境界が明確な民有林の割合(%)



現在の広葉樹材の使われ方

- 増える資源量 ↗ 減る利用量 ↘
- 全体の8割以上が製紙用パルプとなる。
- 用材として利用されているのは1%程度
(地元で床材、壁材、木工芸等の原材料として利用されているが、県外からの移入材も多い)
イタヤ、ケヤキ、エンジュ、コシアブラ、サクラ等



- 最近増加傾向にある燃料(薪)用材
薪:433m³ 薪用原木:607m³ 計:1,040m³
(平成27年度置賜総合支庁調査)
- 県内最大の木炭生産地
白炭:47t/57t=82% 黒炭:3t/15t=20%
- きのこ用原木、オガ粉も少量生産



置賜地域の広葉樹材利用の歴史

- **古くから続く木地職**

文化10(1813)年頃、中津川小屋村の大肝入り 小田切清左衛門秀政が上杉領内の木地職の総差配役となる。

- **戦時中**

軍用合板→航空機のフロート用、プロペラ用、船艇用
川西町小松の大洋合板が航空機用合板を生産

- **戦後**

住宅資材、音響資材用等として合板が利用された。
南陽市宮内の田島木材が、パチンコの釘打ち板を製作

- **ブナの資源開発時代の到来(昭和30年～40年代)**

フローリング材、家具、枕木、パルプ、繊維板として利用

- **薪炭に使われたナラ材**

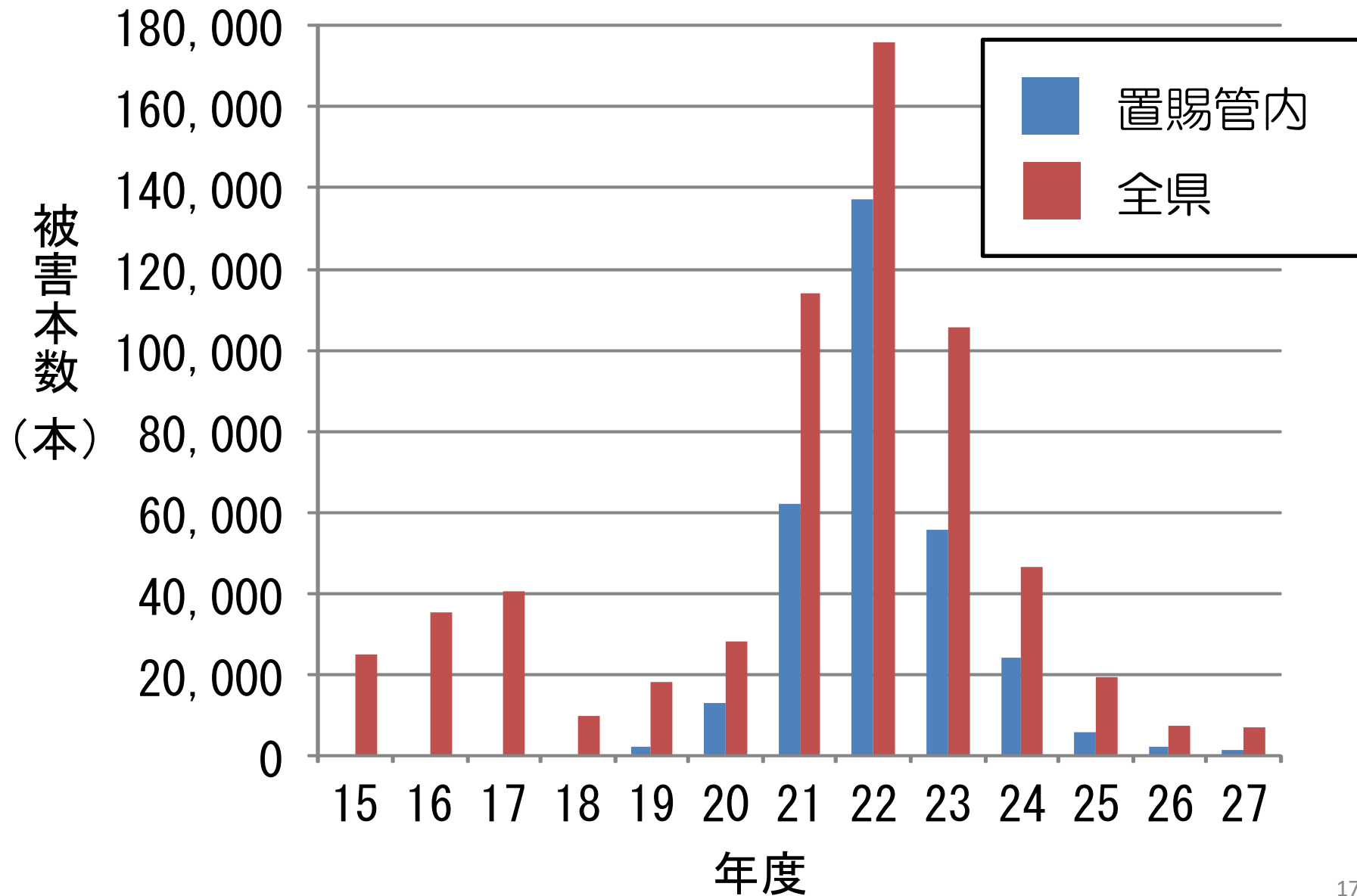
- **用材として単木的に伐採されたケヤキ→西日本へ移出**

ナラ枯れ被害



小国町

ナラ枯れ被害量の推移



置賜木需要創出ワーキングチーム

広葉樹も含めた置賜地域の森林資源の需要拡大を狙いとして、新たな需要創出や製品開発等の検討、試作を行う。

《検討項目》

- ①広葉樹資源の用途開発
- ②暮らしグッズ等の木製品の開発及び試作品の製作
- ③広葉樹資源の燃料・きのこ栽培用資材・用材としての利用拡大
対策 他

《メンバー》

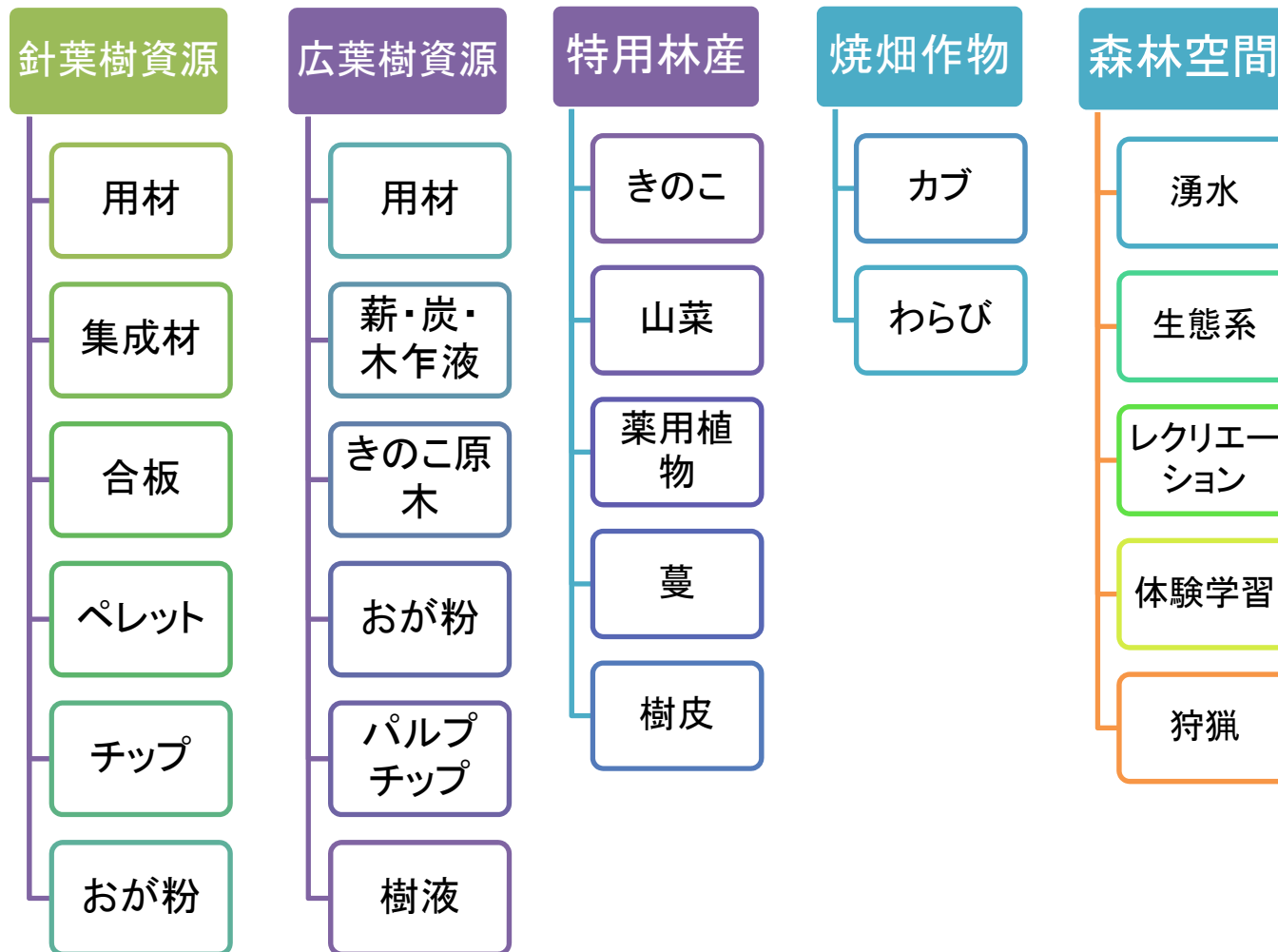
素材生産、製材、建築、家具、木工、設計、デザイン、バイオマス、きのこ生産、行政（県）

《開催経過》

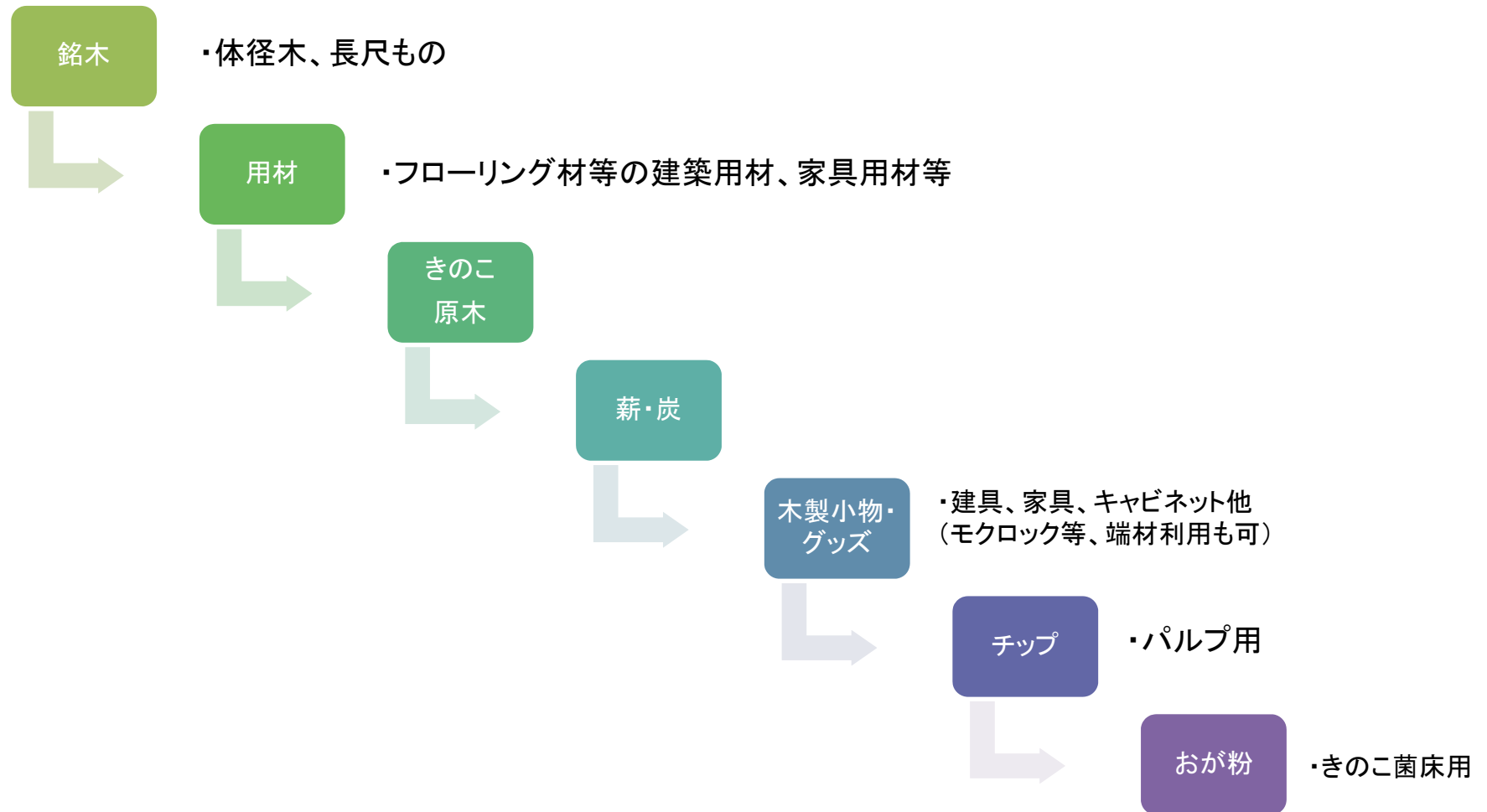
9月5日に第1回会議を開催。

メンバー各自の取組みを紹介するとともに、情報交換、情報共有を図った。次回は10月上旬開催予定。

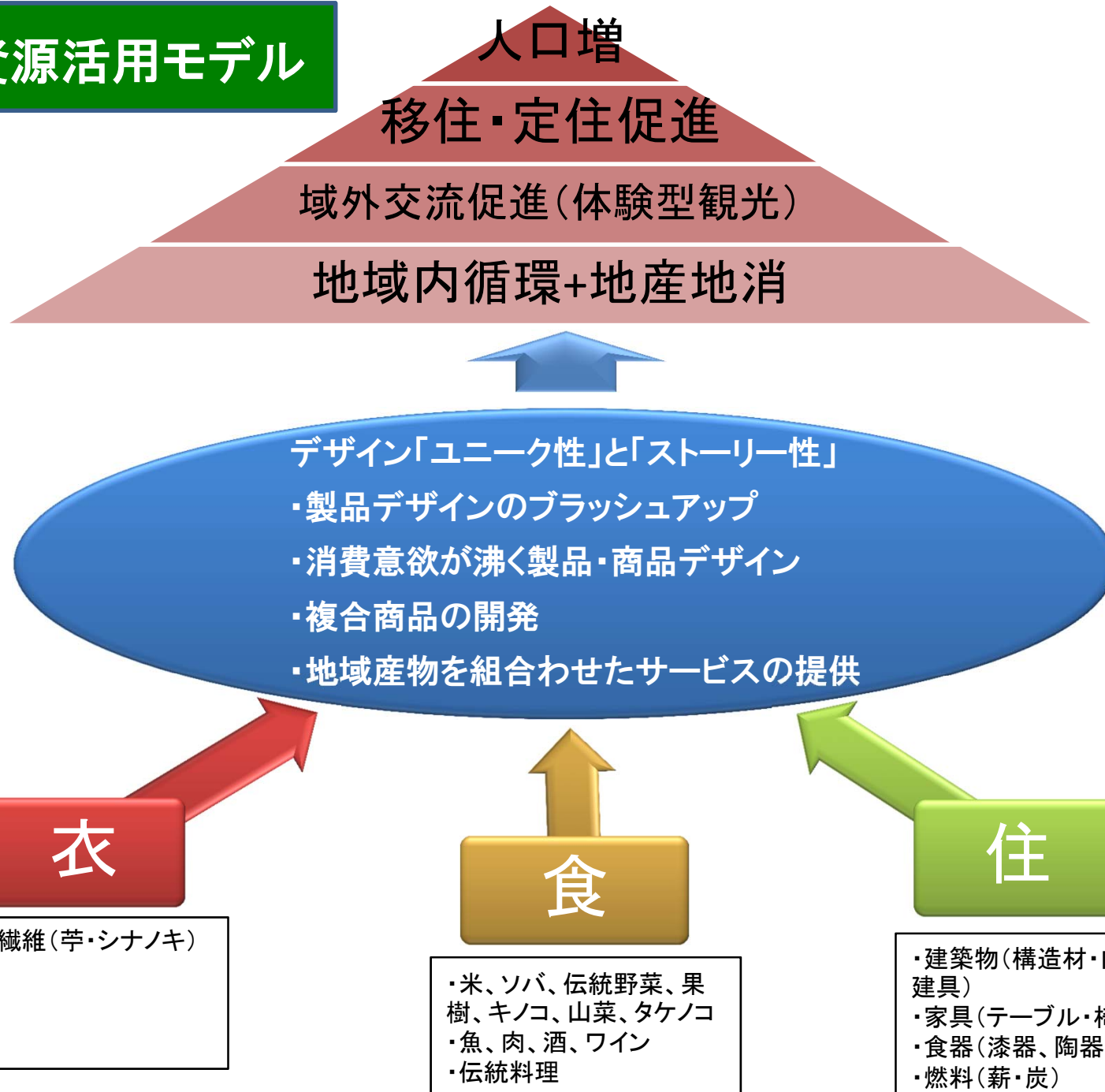
森林資源の利用体系



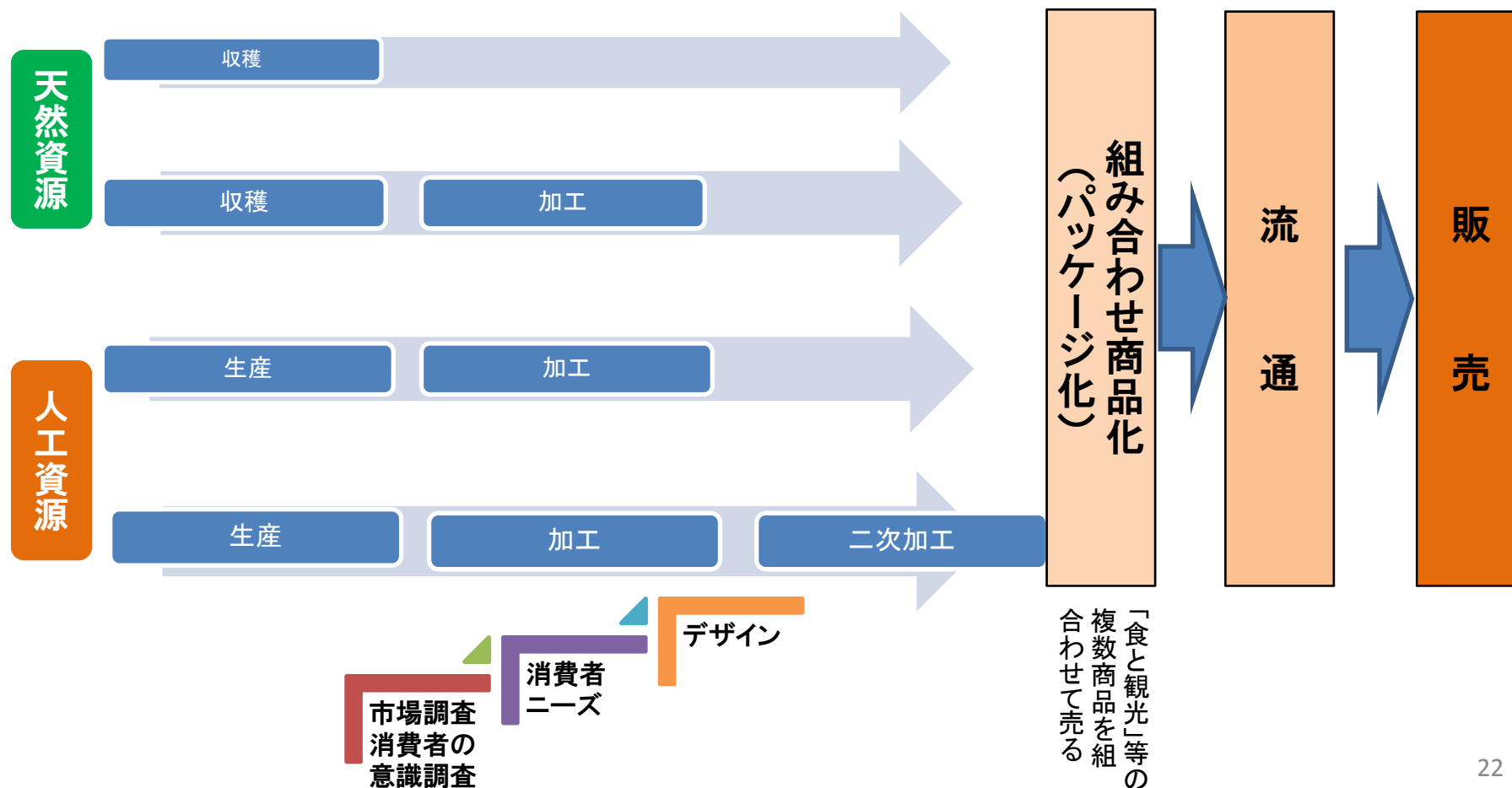
広葉樹資源のカスケード利用



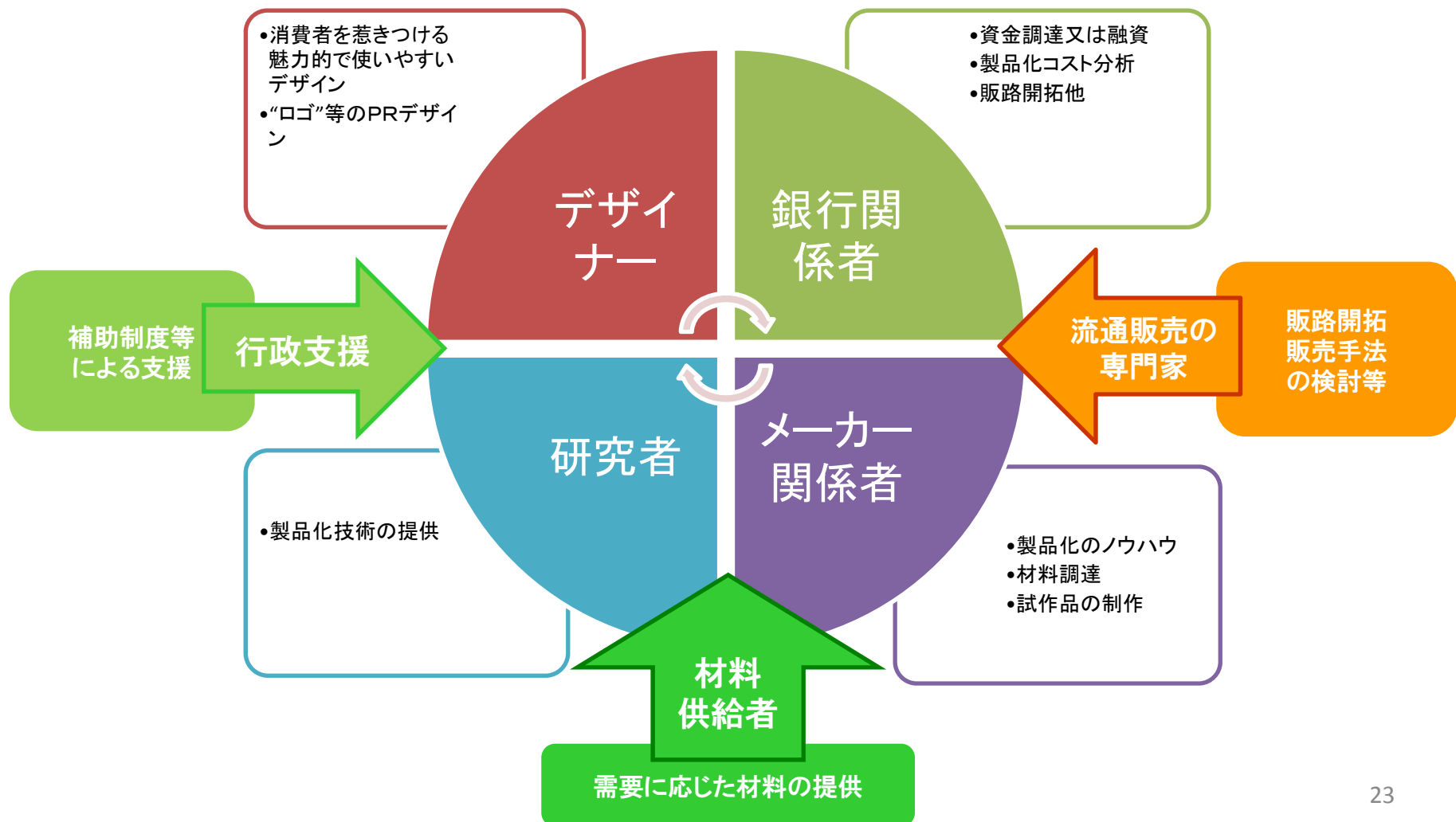
地域資源活用モデル



地域資源を活用した商品開発の流れ



横のつながりで製品開発するスキーム例





御清聴ありがとうございました。